

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公開番号】特開 2005-119993 (P2005-119993A)

【公開日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【年通号数】公開・登録公報 2005-018

【出願番号】特願 2003-354808 (P2003-354808)

【国際特許分類】

A 6 1 K 36/48 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/96 (2006.01)

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/78 J

A 6 1 P 17/00

A 6 1 K 7/00 K

A 6 1 K 7/48

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

[抽出処理]

処理 A) 甘草 1 0 0 k g に水 1 2 0 0 リットルを加え、ステンレス容器に入れ、9 5 にて 2 時間加熱し、6 1 9 G で 2 時間の遠心分離を行なって固液分離し、分取した液を 3 0 0 メッシュのステンレス製振動篩でろ過して透明性液体を得た。

処理 B) 得られたろ液 1 0 0 0 リットルを減圧濃縮して 1 0 0 リットルとし、これに活性炭 (日本エンバイロケミカルズ社製 : 粒状白鷺 K L) 2 . 7 k g を加えて、混和後に 1 0 0 メッシュのステンレス製振動篩でろ過した。

処理 C) 処理 B のろ過処理で分取したろ液 1 0 0 L を、減圧濃縮して 2 L に濃縮し、さらに 1 3 0 0 0 G で 2 0 分の遠心分離により、活性炭除去と減圧濃縮によって水分 4 0 % 含有のエキスを作成した。

ここまでの処理 A ~ C を行なうに際して、処理 B が一回のみで得られたエキスを B₁ とした。B₁ に水を加え 1 0 0 0 リットルとした後、B の操作を 1 2 回繰り返して得られたエキスを B₁₂ とした。

処理 D) B₁₂ の 1 2 0 g に水を加えて 3 リットルとし、これに活性炭 (和光純薬社製 : 活性炭素粉末) 3 0 0 g を加えて攪拌すると共に、7 5 0 グラムのタルク (丸石製薬社製) を加えて更に攪拌した後、濾紙にて濾過し、得られた濾液を 9 5 以下に加熱してタール状の濃縮エキス B_{12c} を得た。